

器具寸度

	上級	中級	初級
跳馬	125cm	125cm	とび箱 100cm
段違い平行棒	高バー255cm 低バー175cm		鉄棒 160cm(マット上)
平均台	125cm		
ゆか	12m×12m		

女子採点規則・実施要項・特別要求

種目	上級 (女子採点規則変更規則Ⅰ)	中級	初級
	禁止技なし	禁止技なし	
跳馬	2回の跳躍を実施し、よい方のスコアを有効点とする	D 採点規則集の難度表のDスコア通り 禁止技はない E 10.00から実施減点 難度表にない跳躍技の実施は、Dはなし、Eは8.00から実施減点	初S 級A 規K 定U 演R 技A へカ 2ッ 0ブ 2技 5委 年員 会
段違い平行棒	1. 高棒から低棒へ移動する空中局面を伴う技 2. 空中局面を伴う技(構成要求1とは兼ねられない、終末技を除く) 3. 異なる握り(後ろ振り上げ、開始技と終末技を除く) 4. 360度以上のひねりを伴う空中局面を伴わない技(開始技を除く) 注:低棒から高棒へ移動する開始技は、構成要求2を満たすために使用することができる。	D 終末技を含み、DVの高い方から最大5つの技を数える 構成要求。禁止技はなし E 12.50から実施減点 開始技は難度表にないものでもよい 終末技が難度表にないものでもEの減点はしない 技の実施なしに棒を換えても減点しない 使用する棒は、低棒のみ、高棒のみ、両棒でも採点には影響しない	
平均台	1. 180度開脚(前後または左右)または左右開脚屈伸のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ 2. ターン(グループ3) 3. 1つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも2つの技からなるアクロバット系シリーズ(同一技でもよい) 4. 方向の異なる(前方/側方と後方)アクロバット系の技	D 終末技を含み、DVの高い方から最大5つの技を数える 【構成要求】 1 180度の開脚(前後/左右)または開脚屈身姿勢を伴う1つのダンス系のとび 2 ターン(グループ3) 3 前方/側方のアクロバット系の技 4 後方のアクロバット系の技 5 終末技はA難度以上 0.50 難度なし 0.00 E 10.00から実施と芸術性の減点 芸術性(最大0.90) 芸術的な演技 0.30まで 構成と振付 0.30まで 立ち姿勢を含む美しい姿勢での演技 0.30まで	
ゆか	1. 180度の前後/左右開脚または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ(難度表にある)の直接または間接(ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った)の組み合わせでの移動 2. ひねり(1回ひねり以上)を伴う宙返り 3. 2回宙返りまたは2つの異なる宙返りを含む1つのアクロライン 4. 後方宙返りと前方宙返り(片足踏み切りの宙返りは除く) 注:構成要求の2,3,4はアクロラインの中で実施しなければならない。	D 終末技を含み、DVの高い方から最大5つの技を数える 【構成要求】 1 180度の開脚(前後/左右)または開脚屈身姿勢を伴うダンス系のとびを含む異なるダンス系の技での移動 2 ターン(グループ2) 3 前方/側方のアクロバット系の技 4 後方のアクロバット系の技 5 最後のアクロバット系の技はA難度以上 0.50 難度なし 0.00 E 10.00から実施と芸術性の減点 芸術性(最大0.90) 芸術的な演技 0.30まで 構成と振付 0.30まで 音楽と音楽性 0.30まで	
	(段違い平行棒、平均台、ゆか共通) 実施された終末技によって、以下の加点を与える。 加点はDスコアに加算される。 大過失のある実施にも加点がなされる。 ・B難度の終末技 + 0.30 ・C難度の終末技 + 0.50 ・D難度以上の終末技 + 0.70	短い演技に対する減点項目は設定なし。 但し、構成上極端に短い演技等は審判員が相応の得点として評価をすることとする。	